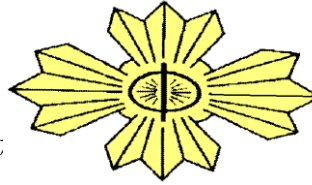


校長室より

No. 12



校長 平松 明美

変わるもの 変わらないもの

新年あけましておめでとうございます。厳しい寒さのなかにも好天に恵まれ、良いお正月をお迎えになったことでしょう。

年賀状のCMにもありましたが、「平成30年」というひと区切り、節目の年。しかも来年5月1日には、新天皇が即位され、元号も新しくなるということで、わたし自身、いつもとは少し違った思いで新年を迎えたような気がします。



振り返れば、平成の時代が始まったころは、学校でもコンピューターは珍しく、学校に数台しかなく、授業で使うプリントもほとんど手書きで、いろいろな計算も電卓や、なかには、そろばんやっていた先生もいらっしゃいました。それが今やわたしたちも一人に1台ずつコンピューターが使い、一気に計算ができ、教育委員会や他の学校の先生方との連絡もすぐにメールでやりとりできるようになりました。何か知りたいと思えば、すぐにインターネットで情報が得られ、世界中の人と瞬時にコミュニケーションがとれるのですから、平成がスタートしたころには、予想もしなかった時代になったと改めて実感します。

また昨年は、AI（人工知能）についての話題もよく取り上げられ、近い将来、多くの職場で人が人工知能にとってかわられ、職を失う人が大勢でるといふ予測もよく耳にしました。便利になる反面、果たしてこれからどんな時代になっていくのだろう、子どもたちに明るい未来はあるのだろうか科学の進歩が人間を不安にさせるという矛盾を感じたりもしました。もちろん、昔から時代は変化してきたのですが、そのスピードがどんどん速くなってきて、以前は「10年ひと昔」などと言ったものですが、今や、「1年ひと昔」と言っても過言ではない気がします。

でもどんな時代になっても「変わらないもの」「大切にしなければならないもの」はあると思います。わたしは、お正月の「箱根駅伝」が大好きで、毎年1月2日・3日の2日間はテレビにくぎ付けになるのですが、天才肌のエリートランナーあり、ひたすらコツコツと努力してきた無名のランナーあり、いろいろな力が同じ目標に向かってひとつにまとまり、もう倒れるのじゃないかと思うような苦しい場面でもひたすら耐え、たすきをつないでいく姿に思わず涙します。沿道で声援を送る人たちが、順位がどうか、どこかの大学かとかいうことなく、どの選手にも「がんばれ」と声をかけたくなるのは、そんなひたむきさが心をうつからだと思います。

さあ、今日から3学期のスタートです。どんな時代になっても「これが自分の誇れるもの、だれにも負けないもの」を見つけれよう、前向きに、努力を忘れず、精進しましょう。そして、平成29年度のまとめの学期でもあります。やさしさ、思いやりを大切に、仲間の良い面を認め合い、思い出に残る学級や学年にできるよう、絆を深める3学期にしてください。

(保護者のみなさま) あけましておめでとうございます。良い新年をお迎えのことと存じます。

本年度もあと三か月足らずとなりましたが、どうぞよろしくお願ひいたします。

《表彰より》

・「ぎりぎり遅刻0運動 0人達成」(12/11～12/15) 1年3組 1年4組 1年5組

・市文化祭習字作品展

1年	岡田 優羽	川崎 咲良	高本 耀賀	牧 桜琴	藤本 千沙妃
	杉本 ひなた	田上 美咲	谷 梨央奈	山田 彩乃	宮城 かのん
2年	柏原 華乃	森下 光希	田中 美優	片岡 稚弥	高橋 優衣
	栗山 裕翔	井浪 健太郎	植野 優海	藪 清正	
3年	岡田 晴奈	西村 香凜	高橋 琴音	牧 千聖	山西 南
	西田 彩乃	山田 あい	篠原 彩那	西出 有李	大川 未来乃
	濱田 陽	前川 千尋	笠谷 あかね		